

洗面自動混合栓・単水栓取扱説明書 (お客様用)

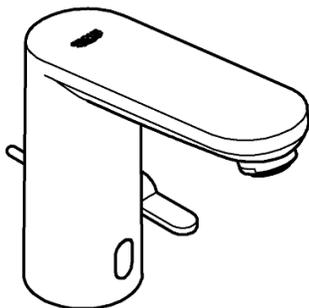
- このたびは、GROHE製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書(付属の保証書)はお読みにになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次にご使用される方にこの説明書と別添の保証書をお渡しください。

工事店さまへのお願い

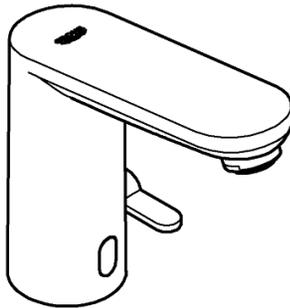
この取扱説明書と、別添の保証書に貴店名ならびに
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

混合栓

3633110J・JP210900(引棒あり)

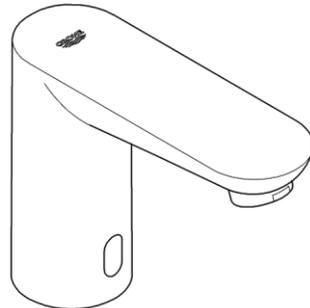


3632710J・JP210800(引棒なし)



単水栓

3627100J
JP210701・JP595801



- センサー部に手を近づけると吐水が始まり、遠ざけると自動的に止水する自動水栓です。
- 電源は乾電池(6Vリチウム電池、CR-P2)を使用しています。
- 連続吐水(約1分)すると自動的に止水します。
- センサー部でクリーニングモード(センサー反応制御)の設定ができます。
- 本体横のレバーを回転させることで吐水温度を簡単に調整できます(混合栓のみ)

付属の電池は動作確認用です。
開梱時に電池が消耗している場合がありますので、
お早めに新しい電池(市販品「CR-P2」)をご用意ください。

外部バッテリー	6Vリチウム電池 CR-P2
使用可能環境温度	1℃～40℃

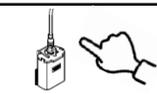
もくじ

安全上のご注意	……	2
ご使用上の注意	……	4
各部の名称	……	4
ご使用前に	……	4
ご使用方法	……	5
お手入れ方法	……	6
日常のお手入れ	……	7
定期的な点検	……	8
冬期凍結の恐れがある場合	……	8
修理を依頼される前に	……	9
定期的な部品交換	……	10
アフターサービスについて	……	10
認証登録番号	……	10

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

用語および記号の説明			
警告	「この指示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。」		
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」		
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)		「分解してはいけません！」
	「指示した場所に触れてはいけません！」		「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)
	この絵表示は、「ふろ、シャワーなどの水場での使用禁止」の内容です。		

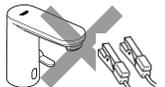
⚠ 警告		
	フロ、シャワーなど水場での使用禁止 バスルーム等、水のかかる可能性のある場所や、結露が生じるような湿度の高い場所では使用しないでください。 ※故障、発火、ショート、火災の原因になります	
	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
	電源プラグを濡れた手でさわらない 濡れた手で電源プラグをさわらないでください。	
 禁止	電源コードは乱暴に扱わないでください。電池ボックスはしっかり固定して下さい。 発火、ショート、火災の原因になります。	
	電源ケーブルや水栓内部に水をかけないでください。 ※センサーが汚れ、誤作動・故障等の原因になります。	 水かけ禁止
 指示	水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水の原因になります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水を言います。 ※水道水・飲用可能な井戸水でも水アカの付着・緑青の発生で回転不良・温度調整不良のおそれがありますので、定期的なメンテナンスが必要です。	水道水のみ OK 
	電源プラグはしっかりと差し込んでください。 電源プラグを電池ボックスに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。 ※発火、ショート、火災の原因になります。	
	電源プラグに付いたホコリは取り除いてください。 電源プラグにホコリなどがたまると、湿気で絶縁不良となりますので、電源プラグを抜き乾いた布で拭いてください。 ※発火、ショート、火災の原因になります。	

安全上のご注意

⚠ 注意

 接触禁止	高温の湯をお使いのときには、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	
	水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	
 禁止	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
	他所の水栓と同時使用しないでください。 ※同時使用すると、圧力変動により湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。	
	吐水口・引棒部分に直接水をかけないでください。 ※キャビネット内へ水が浸入し家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
	水栓の近くにタオル等の障害物を置かないでください。 ※センサーに反応し、誤作動の原因になります。	
 指示	めっき面のハガレはそのまま放置しないでください。 ※めっき面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。	
	キャビネット内のものを出し入れするとき、給水・給湯ホースに引っ掛けるなど、ホースに無理な力が加わらないようにしてください。 ※給水・給湯ホースの外れや、損傷による漏水の原因となります。	
	高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流して下さい。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
	定期的に配管の漏水やガタツキが無いか確認して下さい。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

⚠ 注意: 凍結防止のために

 禁止	凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
 指示	屋外や凍結のおそれがある場所には使用しないでください。 ※凍結が予想される際は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。 水栓が凍結した場合、破損し漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

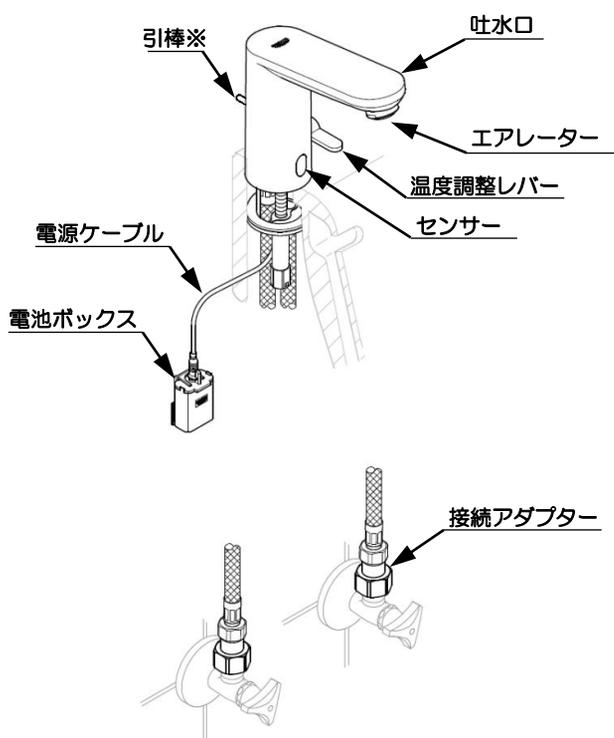
ご使用上の注意

【ガス給湯器と合わせてご使用の場合】

- ◎比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温(使用温度+10°C)にしてください。
- ◎能力切替付きの給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- ◎給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。このときは、給湯器の設定温度(能力切替は能力)を少し上げてお試ください。
- ◎ガス給湯器の温度調節は最高温度(60°C)設定です。温度設定は60°C以上で使用しないでください。

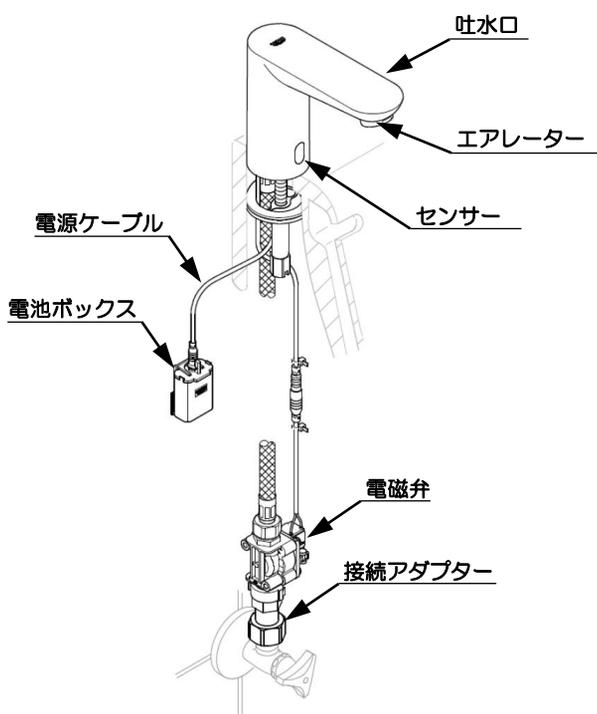
各部名称

混合栓



※引棒はご使用の機種により
付属しないものがあります。

単水栓



ご使用前に

- キャビネット内の止水栓が開いているか確認してください。
閉まっている時は止水栓のハンドル(レバー)を左に回し、開けてください。
※図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



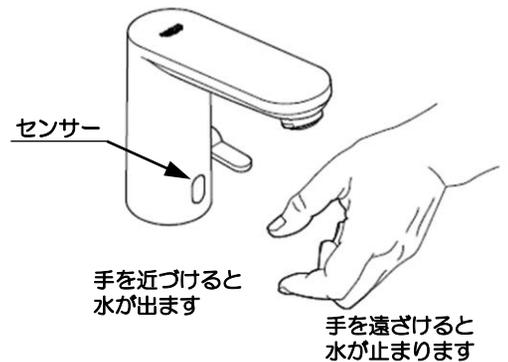
ご使用方法

センサー

【開閉】

本体前のセンサー(黒い楕円状の部分)の手前に手を近づけると吐水が開始します。センサーから手を遠ざけると止水します。またセンサーの反応範囲は直線的で斜めに近づけても反応しません。

- 手を近づける → 水が出ます
 - 手を遠ざける → 水が止まります
- ※約1～2秒後に吐水、止水します。



【節水機能】

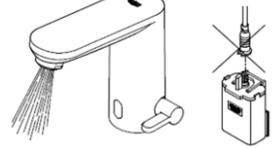
センサーは手を近づけていても節水機能がはたらき約1分後には自動的に止水します。再度使用したい場合はセンサー部から一度手を遠ざけ改めてセンサーに手を近づけてください。

ポイント

- ・センサー感知には約1秒のタイムラグがあります。
- ・節水機能は解除できません。

注意

水が出ているときに電池を抜くと止水しません



吐出中に電池を抜き取らないでください。
※節水機能が働かなくなり、止水しなくなります。

温度調整レバー(混合栓のみ)

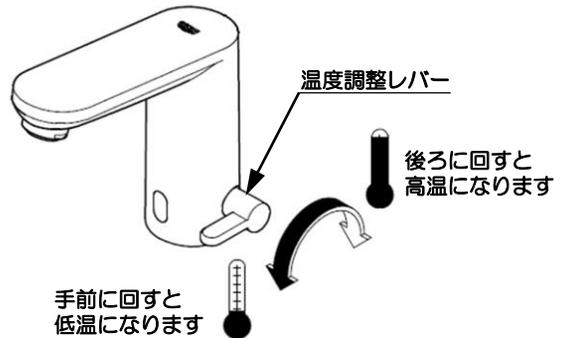
【温度調整】

温度調整レバーを回すことにより、吐水温度の調整を行うことができます。

- レバーを後ろに回して → 湯(高温)になります
- レバーを手前に回して → 水(低温)になります

注意

高温をお使いになるときは、必ず水側に回してからゆっくり湯側へ回して、お好みの温度に調整してください。



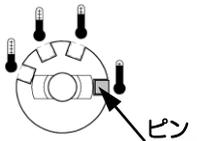
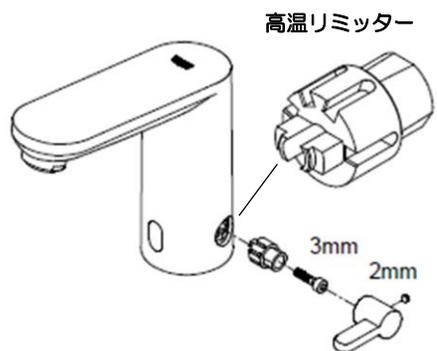
【高温リミッター】

高温側に温度調整レバーが回らないようにする「危険防止リミッター」機能が付属しています。※取付方法については据付説明書を参照してください。

- 手前にピンを入れる → 湯側に回るようになり高温が出ます
- 後ろにピンを入れる → 湯側に回らなくなり、高温が出ません

注意

※高温リミッターのピンの位置を変えることで、吐出の最高温度を変えることができます。※リミッターはレバーの操作角度を制限するものです。給湯温度によって吐水の温度は変わります。



お手入方法

電源交換方法

注意

【交換用電池はお早めにご用意ください】

付属の電池は動作確認用です。
開梱時に電池が消耗している場合がありますので、
お早めに新しい電池(市販品「CR-P2」)をご用意ください。

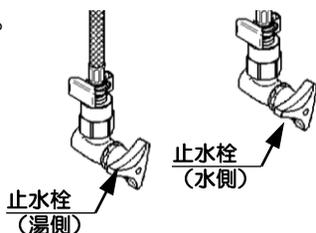
ポイント



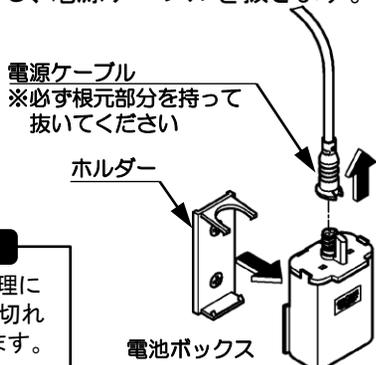
点滅は
電池交換の
サインです

電池が消耗すると、本体前のセンサー
(黒い楕円状の部分)が断続的に点滅します。
電池交換時期を知らせるサインですので
市販品「CR-P2」をご用意・交換してください。

1. 止水栓を閉めます。



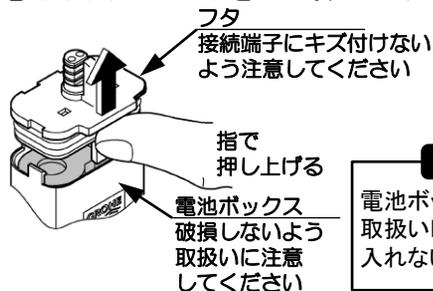
2. カウンター下に設置されているホルダーから
電池ボックスを外し、電源ケーブルを抜きます。



注意

電源ケーブルは無理に
引っ張るとコードが切れ
故障の原因となります。

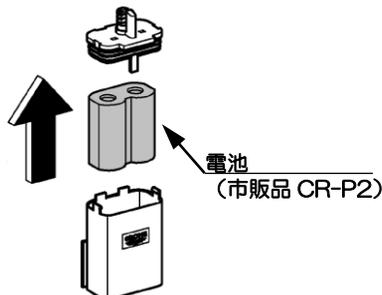
3. 電池ボックスのフタを上押し上げて外します。



注意

電池ボックスとフタの
取扱い時は無理に力を
入れないようにご注意ください。

4. 電池ボックスから電池を取外し、新しい電池と交
換します。



クリーニングモード

ポイント

水栓を清掃する際、センサーが反応して吐水してしまわ
ないように、3分間センサーを無効にするモードです。
この機能は、3分後に自動的に解除されます。

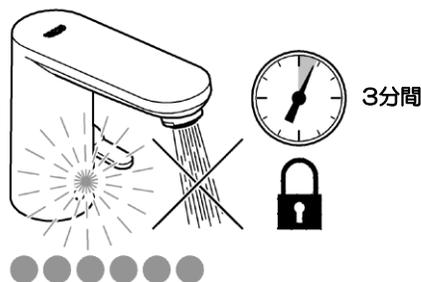
1. センサー部の半分より下側に指を当てたままに
します。(この時は吐水をします)



2. ランプが3回ほど点滅したら、指を離します。



3. 点滅終了後、3分間のクリーニングモードに入り、
センサーに手をかざしても吐水しくなります。
クリーニングモードの間はランプが短い点滅を繰
り返します。



ポイント

3分経過するとクリーニングモードは自動的に解除され、
センサーが有効になります。
引き続き清掃が必要な場合は、再度クリーニングモード
にしてください。

お手入れ方法

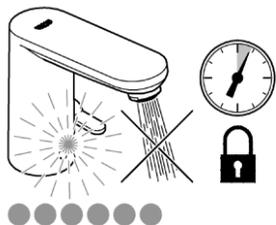
エアレーターの清掃

エアレーターにゴミが付着し吐水量が減少することがあります。ときどき次の要領で掃除してください。

注意

※エアレーターを掃除する際は、排水栓を閉じて行って下さい。
※改善しない場合はエアレーターの交換が必要になります。
※引き渡し間もない場合、工事で使用したシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。
※清掃後は、確実にエアレーターを取付けてください。

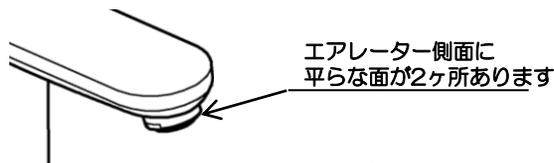
1. 水栓本体をクリーニングモード(P6)にします。



注意

ストレーナーの清掃をする際は、必ず本体をクリーニングモード(P6)にしてから行って下さい。

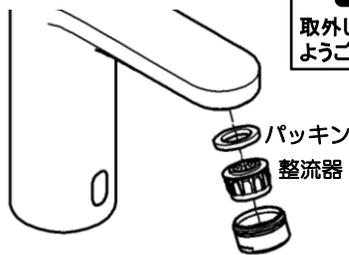
2. エアレーターの溝にスパナ等の工具を当てて反時計回りに回して外してください。



注意

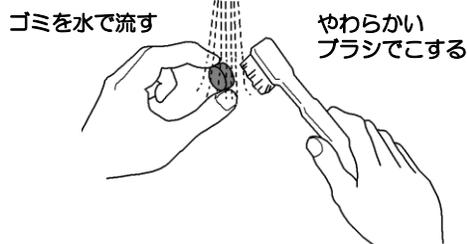
※製品を傷つけないよう、製品と工具の間に布を当てて作業してください。

3. エアレーター内のゴミを取り除きます。



注意

取外した部品は無くさないようご注意ください。



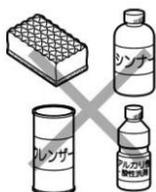
日常のお手入れ

本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。その後水でぬらした柔らかい布で水拭き後、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。

注意



製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。

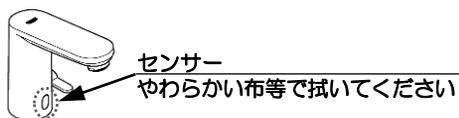
まちがって使用した場合はすぐに水洗い等をし、柔らかい布でしっかり拭き取ってください。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

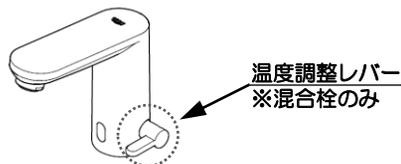
センサー(1カ月に1回程度)

- ◎時々、やさしく拭いてください。
お手入せずに使用し続けると水アカが付着し、センサーが働きにくくなることがあります。
※キズがつかないようにご注意ください。



温度調整レバー(1カ月に1回程度)

- ◎時々、前後に回し動かしてください
可動部を長期間回転させずにいると、回転部に水アカ等が付着し、回りにくくなる場合があります。



配管まわりの水漏れ(1ヶ月に1回程度)

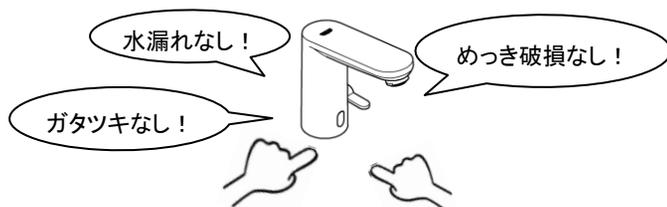
- ◎配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。

水漏れなし!



水栓のガタツキ(1カ月に1回程度)

- ◎水栓のガタツキがないか確認してください。
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

- ◎めっき部分の破損がないか確認してください。
劣化・磨耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。

冬期凍結の恐れがある場合

凍結が予想される際は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。破損の状況によっては有料の本体交換になる場合もありますのでご注意ください。

注意

凍結が予想される場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓や配管部などに保温材を巻く。

修理を依頼される前に

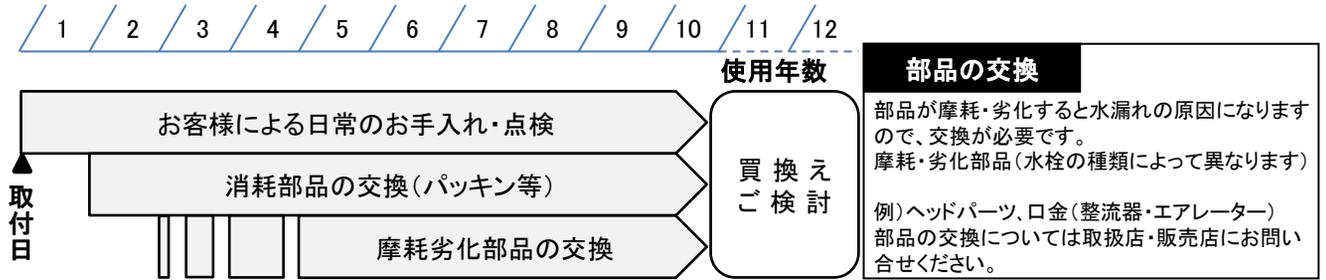
このようなとき	よくある例	ここをお調べください
●吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミ等が整流器(エアレータ)、ストレーナーにたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1)吐水口先端の整流器(エアレータ)、ストレーナーにゴミ等が詰まっていないか確認してください。 ※「お手入れ方法」をご参照ください。 (2)ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
●適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミ等が整流器にたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力(勢い)が強過ぎる。	(3)上記同様、整流器(エアレータ)、ストレーナーにゴミ等が詰まっていないか確認してください。 (4)給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (5)湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. 湯側レバーをいっぱいに出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側レバーをいっぱいに出し、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
●水の量が多すぎて使いづらい ●使用時に高い音がする	⑥水の圧力(勢い)が強過ぎる。	(6)上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
●完全に止水できない	⑦内部電磁弁にゴミ等が付着、または破損している。	(7)販売店、据付業者、またはグローエサービスセンターに連絡して電磁弁を交換する。
●温度調整レバー回転部から水が漏れる	⑧吐水口オーリングにゴミ等が付着、または破損している	(8)販売店、据付業者、またはグローエサービスセンターに連絡して部品を交換する。
●センサーが働かない 水が止まらない	⑨電源コードが外れている ⑩電池切れ ⑪電磁弁にゴミが付着している ⑫センサーに付着物がある ⑬センサー付近に障害物がある	(9)販売店、据付業者に連絡して電源コードを据付してもらう (10)電池を交換する。 (11)販売店、据え付け工事店またはグローエサービスセンターに連絡して電磁弁を洗浄、または交換する。 (12)センサー部分をやわらかい布等で掃除する。 (13)センサーから450mm範囲内に障害物があると止水しない場合があります。

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、またはグローエサービスセンターへご相談ください。

※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

◆定期的な点検・部品交換のめやす



補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。
なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店にお問い合わせください。

アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(保証書または取扱説明書)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問日

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
0570-666-368

受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)
平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のご相談のみ)

湯水混合水栓(自動式)

品質確認 実施工場	グローエジャパン株式会社 検査試験室
認証登録 番号	C-620
特記事項	なし

単水栓(自動式)

品質確認 実施工場	グローエジャパン株式会社 検査試験室
認証登録 番号	C-621
特記事項	なし

本社 〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1
TEL 03-6748-1180 FAX 03-6748-1181

大阪営業所 〒541-0057 大阪市中央区北九宝寺町4-3-5 本町サミットビル3階
TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485

GROHE JAPAN ホームページ <https://www.grohe.co.jp/>